

女性活躍推進への取り組みとして異業種交流会を開催しました

株式会社遠藤照明(以下:当社)は、女性が更にイキイキとやりがいをもって働けるように、女性活躍推進への取り組みを行っており、そのなかで、より多面的な視点を取り入れられるようにと、当社社外取締役の宮下律江氏(株式会社エターナリア 代表取締役)の紹介で、同氏が社外取締役として兼務する、特種東海製紙株式会社様(以下:特種東海製紙)との交流が実現しました。

交流会は双方の会社を訪問して行われ、初回は2024年の7月に、当社の体験型オフィス兼ショールーム「Synca U/X Lab」(住所:東京都新宿区若葉1-4-1)に特種東海製紙の方々をお迎えし、今回は当社側が、特種東海製紙の研究開発と営業の支援拠点であるPam(住所:静岡県駿東郡長泉町本宿437)を訪問し、女性社外取締役及び女性管理職(候補者を含む)の両社合計16名で異業種交流会を開催しました。

互いの理解を深めるために、双方の会社に訪問した際は見学会が開催され、今回は特種東海製紙の三島工場及びPamを見学し、徹底した品質管理がされたなかでの特殊紙の製造工程や、過去から現在までの収蔵品の展示を拝見し、追求された紙へのこだわりや歴史について触れる機会となりました。

お互いの働く環境や事業内容を理解したうえで行われた意見交換会は、打ち解けた和やかな雰囲気なかで行われ、それぞれが奮闘していることや難しく感じていること、またそれに対する自身の考えを発表する形式で進められました。

参加者からは、会社の枠にとらわれずに、過去の経験から、自分自身がどうやって乗り越えたのか、また、課題解決の為に導入した制度についてなど事例も踏まえ、各々の課題に対してアドバイスをいただくといったやり取りが交わされました。

課題の中には、部下の育成、育児とキャリアに悩む女性社員のマネジメント、産休中の代替人員の対応など、互いに共通することも多く、予定していた時間では足りなくなるほどに活発な意見交換が行われました。

社会的に女性管理職比率を高める動きが活発化するなか、まだまだ女性の管理職が活躍している職場やモデルケースが少ないことも多く、今回のように交流の場を設け、自分と近い境遇で、かつ社外の方々との悩みや課題を共有できたことは参加者にとって大変有意義な時間となりました。

交流会後に行ったアンケートでは「他社の話を聞くことで、自社のことや自分自身を振り返る機会となった」「子育てと仕事の両立には、サポートする人はもちろん、実効性のある制度や仕組みが必要で、働きやすい環境づくりの奥深さを感じた」「今回のような企画の継続を希望する」といった回答が寄せられました。現場の声から得られたこれらの知見の積み重ねが、女性活躍推進に繋がると考え、今後の取り組みに反映していきたいと考えています。

遠藤照明は、サステナビリティ経営の推進を通して、これからも社員が活躍し、会社と社員がともに持続的に成長できる組織となるよう、これからも取り組んでまいります。



(特種東海製紙 Pam での見学の様子)



(意見交換会の様子)